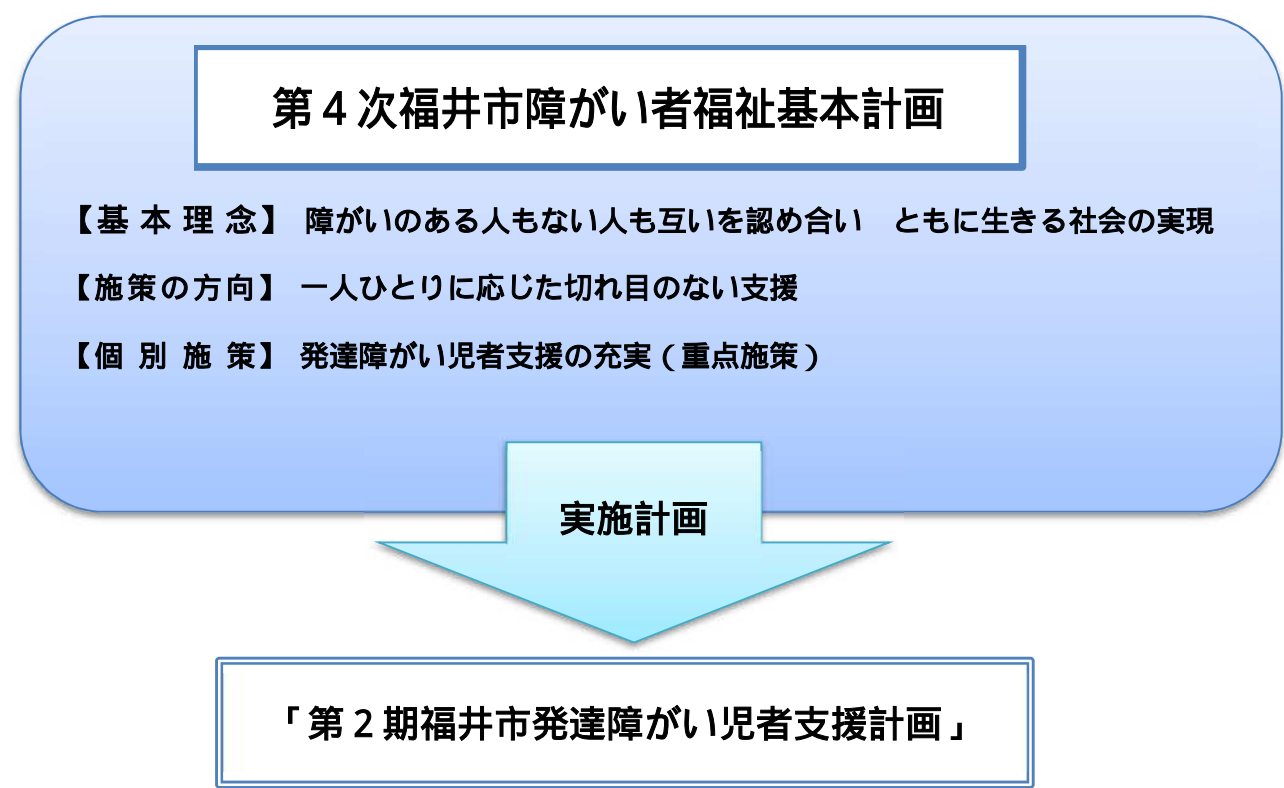


第 2 期福井市発達障がい児者支援計画について

1 計画の位置づけ

本市では、発達障がいを当事者と家族だけの問題とするのではなく、関係者や周囲の人たちがその特性を理解し、個々の能力や特性にあった社会的自立へ導くことが重要と考えています。

今年度策定します「第 4 次福井市障がい者福祉基本計画」においても、「発達障がい児者支援の充実」を重点施策の 1 つに掲げていることから、発達障がい児者及びその家族に対する支援体制の更なる充実を図り、生涯を通じて切れ目のない支援を行うことを目的に本計画を策定したものです。



2 計画期間

この計画の期間は、第 4 次福井市障がい者福祉基本計画に合わせ令和 3 年度から令和 8 年度までの 6 年間とします。

計画名	平成 27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
障がい者福祉 基本計画	第 3 次 ( 6 年間 )						第 4 次 ( 6 年間 )					
発達障がい児者 支援計画		第 1 期 ( 5 年間 )					第 2 期 ( 6 年間 )					

3 具体的な取組

- ( 1 ) 早期発見・早期療育体制の充実
- ・乳幼児期からの健診や個別の療育の実施により、早期発見から早期療育につなげる。
  - ・発達障がい児（疑い含む）及びその家族に対する相談支援の充実を図る。
  - ・児童発達支援センター機能強化事業を増設する。【拡充】
- ( 2 ) 特性に応じた保育の充実
- ・保育士等に対し、気になる子について専門的な助言を行う保育カウンセラーの派遣回数を増やし、支援を充実する。【拡充】
  - ・保育士等のスキル向上を図るため、親子療育教室・学習会や研修会を実施する。
- ( 3 ) 学校教育における支援の推進
- ・インクルーシブ教育の考え方を取り入れ、充実した学校生活を支援する。
  - ・個別の教育支援計画等を活用し、医療や福祉と連携しながら、児童生徒及び保護者への支援の充実を図る。
- ( 4 ) 発達障がい者の就労の促進
- ・特性等に応じて幅広い分野で活躍できるよう、農業分野の雇用機会の拡大を行う。【拡充】
  - ・障がい者の就職・職場定着が円滑にできるよう、就労パスポートの活用の周知に努める。【新規】
  - ・企業等に対し、発達障がい者の受け入れに向けた意見交換など、効果的な研修会を開催する。
- ( 5 ) 発達障がい児者の支援体制の強化
- ・医療、保健、福祉、教育、就労との切れ目のない継続的な連携を推進する。
  - ・高校から成人期にかけての切れ目のない支援を協議するために県との連携会議を開催する。【新規】
  - ・保護者が主体的に「子育てファイルふくいっ子」を活用できるよう支援する。【拡充】
- ( 6 ) 発達障がいの理解促進
- ・市民を対象に発達障がいの特性に関する理解促進、啓発を図る。【拡充】
  - ・教職員向けの研修を実施する。
- ( 7 ) 発達障がいに関する人材育成
- ・各機関で人材育成の対象範囲を広げ、機関全体の支援体制の底上げに努める。
- ( 8 ) 発達障がい児者へのサービスの提供及び環境整備
- ・二次障がいを引き起こさないためにフリースペースの運営を継続する。
  - ・読書環境の整備を推進する。【新規】

4 成果指標

本計画では成果指標を新たに設けることで施策・取組の進捗状況を明確にします。なお、成果指標は個々の具体的取組に対して設定するのではなく、より目標とする指標を明らかにするため、主な取組について掲げるものとします。

成果指標	実績		令和 8 年度
	年度	実績	
児童発達支援センター機能強化事業の施設数	令和元年度	1 か所	2 か所
保育カウンセラーの派遣	令和元年度	113 施設	115 施設
農業分野の会社見学会の実施	令和元年度	2 回	16 回 ( 令和元年度からの累計延べ回数 )
県との連携会議の開催回数	令和 3 年度	開始	年に 1 回開催
発達障がいの内容を知っている人の割合	令和元年度	52.2%	95.0%
発達障がい児者支援の人材育成数	令和元年度	12 人	96 人 ( 令和元年度からの累計延べ人数 )